

西洋古典叢書 2024

自然について 他

エピクロス 著／朴一功・和田利博 訳

四六変上製 528頁 定価：本体4500円+税
ISBN978-4-8140-0559-8 C1310

刊行予定：2025年3月下旬 条件：新刊委託
読者対象：一般～教養
おすすめの棚：西洋古典学、哲学
おすすめ度：★★★★☆

◎エピクロス哲学の全貌が今ここに姿を現わす

ヘレニズム期を代表するギリシア哲学者の一人による現存著作や手紙、箴言集、彼の生涯や教説についての伝記等を収録。37巻より成る彼の主著でありながら全体としては散佚、19世紀に至ってポンペイ近郊のヘルクラネウム遺跡で発見されたパピルス断片から復元された、本邦初訳となる『自然について』も含む、待望のエピクロス作品集。

◆朴一功：元・大谷大学教授
和田利博：関西大学等非常勤講師

プリミエ・コレクション 134

スピノザの観念説

榮福真穂 著

A5判上製 270頁 予価：本体3900円+税
ISBN978-4-8140-0580-2 C3310

刊行予定：2025年4月上旬 条件：新刊委託
読者対象：専門
おすすめの棚：近代哲学
おすすめ度：★★★★☆

◎スピノザの新体系「観念の実在論」とは何か

観念 (idea) は17世紀において精神がいかにして外的世界と接触するかという問題の中で論じられた。デカルトを経てスピノザに継承される観念説 (theory of ideas) は、哲学史の中でも空白地帯とされ難解で知られる。本書は観念の多様な側面に注目しながら、スピノザ独自の構想として従来の認識論的な枠組みにとどまらない「観念の実在論」を提唱する。

◆榮福真穂：フローニンゲン大学哲学部哲学史学科客員研究員、
日本学術振興会海外特別研究員

プリミエ・コレクション 139

ロイス・サドラーの 学習評価論とその転回

新たな質的判断アプローチ

石田智敬 著

A5判上製 264頁 予価：本体3400円+税
ISBN978-4-8140-0572-7 C3337

刊行予定：2025年3月下旬 条件：新刊委託
読者対象：専門
おすすめの棚：教育学
おすすめ度：★★★★☆

◎値踏みではなく成長を。泰斗の変貌が意味するものは？

80年代に学習評価論の基礎を形成したロイス・サドラー (1943-) は、しかし、2000年代になってその後の評価論の展開を根底から批判した。自己批判にも映るパラドキシカルな状況はいったい何を意味するのか？ 学習者の「値踏み」ではなく「成長」を生み出すための評価論を求めつつけるサドラー。彼の思想的転回から次代の学習評価を問う。

◆石田智敬：神戸大学大学院人間発達環境学研究科特命助教

注文書 1月号①

お申込みは→ 京都大学学術出版会

FAX: 075-761-6190

番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		【西洋古典叢書】 自然について 他 【3/10 締切】 ISBN 978-4-8140-0559-8 C1310 定価：本体 4500 円+税
番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		【プリミエ・コレクション】 スピノザの観念説 【3/17 締切】 ISBN 978-4-8140-0580-2 C3310 予価：本体 3900 円+税
番線印	冊	新刊委託指定	京都大学学術出版会 発行/発売
	ご担当様		【プリミエ・コレクション】 ロイス・サドラーの学習評価論とその転回 【3/10 締切】 ISBN 978-4-8140-0572-7 C3337 予価：本体 3400 円+税